



表 4.1-1 (2) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

漂着ごみ データシート②

都道府県名:                      島根県

実施者:                      復建調査設計株式会社

調査海岸:                      松江市 古浦海水浴場

調査実施日: 2026 年 2 月 26 日 ~ 月 日

回収開始時刻: 10 時 0 分

回収終了時刻: 12 時 30 分

回収作業人数: 16 人

調査海岸の奥行き(平均):            30 m

海岸基質:  砂浜  礫浜  礫浜  その他(                      )

調査地点 中心点: N 35.51728124 E 132.97308

※小数点第5位まで記載(例: N 35,00000, E 135,00000)

清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施

台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内

重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他(            )

奥行き方向の回収範囲  全範囲  一部範囲 (            m)

河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	267	7,344	1,183	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	150	66,400	6,939
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	7	4,850	0,412
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	53	102,000	2,492
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	9	37,260	1,712
		ストロー	ストロー	36	0,248	0,037
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	14	0,248	0,047	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器				
		食品容器		85	32,603	2,065
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		128	12,420	0,513
		レジ袋		1	0,331	0,034
		その他プラスチック袋		5	0,490	0,043
	ライター	ライター	7	0,140	0,083	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	45	5,875	0,255	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片			86,940	5,745
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	69	81,697	7,187	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	365	124,200	12,184	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	53	27,945	2,511	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	20	9,302	0,461	
		その他の漁具				
	釣具	釣りのルアー・浮き	24	0,331	0,148	
		釣り糸				
その他の釣具						
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)					
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	7	21,735	1,215		
苗木ポット	苗木ポット	2	1,469	0,177		
その他	花火					
	玩具					
	プラスチック梱包材					
	シリンジ、注射器					
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(					
	その他		5	25,915	4,400	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)				
		コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	15	68,310	4,361	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片			80,730	1,544
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(					
	その他					

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべてを計測する。

表 4.1-1 (3) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	20	9,792	1,732
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	5	2,938	1,142
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球	1	0.100	0.028
		蛍光管	1	0.057	0.080
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
金属	金属	ビンのみ、キャップ、ブルタブ			
		アルミの飲料缶	2	0.850	0.053
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	8	4,000	0.312
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	15	144,000	25,000
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		498,800	42,500
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	6	188,400	40,000
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

言語表記等調査のデータシート

調査実施日 2025/12/9 調査地点 松江市 古浦海水浴場

表 4.1-1 (4) 環境省提出データの詳細 (古浦海水浴場)

項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数
ペットボトル	49 or 45	日本	
	69	中国	
	880	韓国	
	471	台湾	
	46	ロシア	
	不明 (バーコード読取れず)	—	
ペットボトルのキャップ	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	バーコード読取可能 ( )		
	不明 (バーコード読取れず)		118
	(表記言語) 英語		
	(表記言語) フランス		
	(表記言語) 何語かわからず		
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		
	(表記言語) _____		
漁業用の浮子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		24
	中国・台湾 (漢字)		78
	韓国 (ハングル)		47
	ロシア (ロシア語)		
	不明 (文字読取れず)		
	(表記言語) _____		





表 4.1-2 (3) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	2	1,490	0.214
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	6	0,900	0.890
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶			
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	3	1,050	0.235
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
その他					
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	1	0.166	0.007
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)	1	1,800	0.121
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
その他					
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	8	16,000	2,100
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)		27,000	3,800
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

言語表記等調査のデータシート

調査実施日 2025/12/15 調査地 益田市 益田港海岸

表 4.1-2 (4) 環境省提出データの詳細 (益田港海岸)

ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子 (プラ以外を含む。)			
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボ トル	49 or 45	日本	2	ペ ツ ト ボ トル の キ ャ ッ プ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	10	漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	13
	69	中国	1		中国・台湾 (漢字)	2		中国・台湾 (漢字)	
	880	韓国			韓国 (ハングル)			韓国 (ハングル)	
	471	台湾			ロシア (ロシア語)			ロシア (ロシア語)	
	46	ロシア			不明 (文字読取れず)	13		不明 (文字読取れず)	28
	不明 (バーコード読取れず)	—			(表記言語) 英語			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( 893 )	ベトナム	1		(表記言語) フランス			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) 何語かわからず			(表記言語) _____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	中国・台湾 (漢字)		8		(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	韓国 (ハングル)		6		(表記言語) _____			(表記言語) _____	
	ロシア (ロシア語)				(表記言語) _____			(表記言語) _____	
不明 (文字読取れず)	—		(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				





表 4.1-3 (3) 環境省提出データの詳細 (白海土海岸)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	6	3,917	0,518
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	2	0,600	0,543
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球	1	0,100	0,024
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
金属	金属	ビンのみ、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶	1	0,185	0,011
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	2	0,600	0,144
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
		紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	
タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)					
花火					
紙袋					
食品包装材					
紙製容器(飲料用紙パック等)					
紙片(段ボール、新聞紙等を含む)					
分類に無いもので多数見つかった場合には記載(					
その他					
天然繊維、革	天然繊維、革			ロープ、ひも	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	16	30,000	6,000
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	2	0,100	0,011
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

言語表記等調査のデータシート

調査実施日 2025/12/17

調査地点

隠岐郡知夫村 白海士海岸

表 4.1-3 (4) 環境省提出データの詳細 (白海士海岸)

項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数	
ペットボトル	49 or 45	日本	1	ペットボトルのキャップ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	3	漁業用の浮子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	13	
	69	中国	5		中国・台湾 (漢字)	中国・台湾 (漢字)		4		中国・台湾 (漢字)
	880	韓国			韓国 (ハンゲル)	韓国 (ハンゲル)				韓国 (ハンゲル)
	471	台湾			ロシア (ロシア語)	ロシア (ロシア語)		1		ロシア (ロシア語)
	46	ロシア			不明 (文字読取れず)	不明 (文字読取れず)				不明 (文字読取れず)
	不明 (バーコード読取れず)	—			(表記言語) 英語	(表記言語) 英語				(表記言語) 英語
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) フランス	(表記言語) フランス				(表記言語) 不明
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) 何語かわからず	(表記言語) 何語かわからず				(表記言語) 不明
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) 不明
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		13		(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) 不明
ペットボトル	中国・台湾 (漢字)		16	ペットボトルのキャップ	(表記言語) _____		漁業用の浮子	(表記言語) _____	10	
	韓国 (ハンゲル)				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	ロシア (ロシア語)		1		(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	不明 (文字読取れず)	—			(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____
	(表記言語) _____				(表記言語) _____	(表記言語) _____				(表記言語) _____

#### 4.1.2 漂着ごみの組成比

##### (1) 人工物と自然物の組成比

本調査における人工物と自然物の漂着ごみの組成比は、表 4.1-4 及び図 4.1-1 に示すとおりである。

これによれば、重量及び容量については、全ての地点で人工物の方が自然物よりも多かった。個数について灌木は未計測であるため、全地点で人工物しか計測出来なかった。

表 4.1-4 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	84.1	960.1	1,419	13.0	92.9	164	35.7	175.5	113
自然物	82.5	687.2		3.8	27.0		3.0	22.4	
合計	166.6	1,647.3	1,419	16.8	119.9	164	38.7	197.9	113

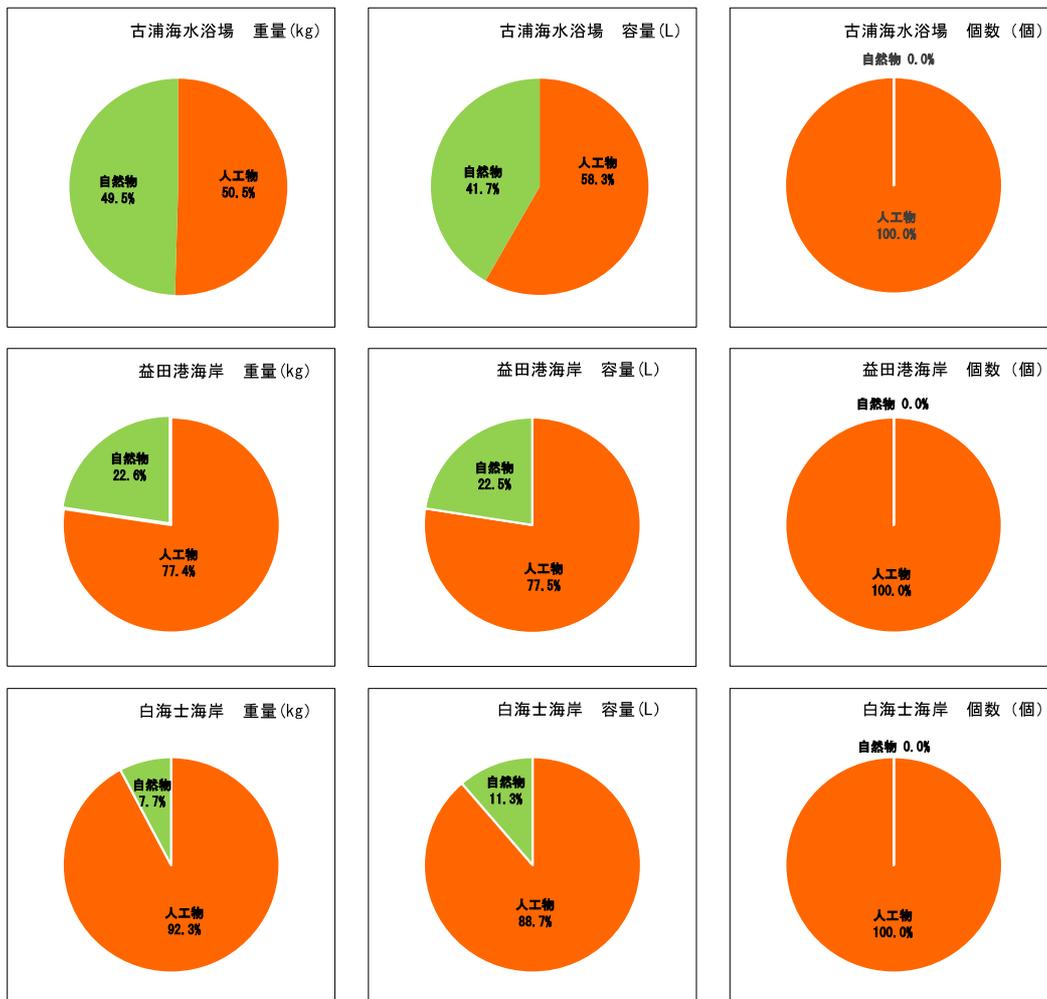


図 4.1-1 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

## (2) 人工物の大分類別組成比

本調査における人工物の大分類別組成比は、表 4.1-5 及び図 4.1-2 に示すとおりである。これによれば、本調査における人工物のうち「プラスチック、発泡スチロール類」の割合が高く、重量では、66.3～79.7%、容量では、77.0～83.2%、個数では、73.5～96.3%であった。

表 4.1-5 人工物の大分類別組成比

項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量(kg)	容量(L)	個数(個)	重量(kg)	容量(L)	個数(個)	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック、発泡類	55.7	798.6	1,367	9.4	71.5	143	28.5	140.0	83
ゴム	1.7	9.8	20	0.2	1.5	2	0.5	3.9	6
ガラス・陶器	1.3	3.1	7	0.9	0.9	6	0.6	0.7	3
金属	0.4	4.7	10	0.2	1.1	3	0.2	0.8	3
紙・段ボール	0.0	0.0	0	0.1	2.0	2	0.0	0.0	0
天然繊維、革	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
木・木材系	25.0	144.0	15	2.1	16.0	8	6.0	30.1	18
電化製品・電気機器	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
その他	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
人工物合計	84.1	960.1	1,419	13.0	92.9	164	35.7	175.5	113

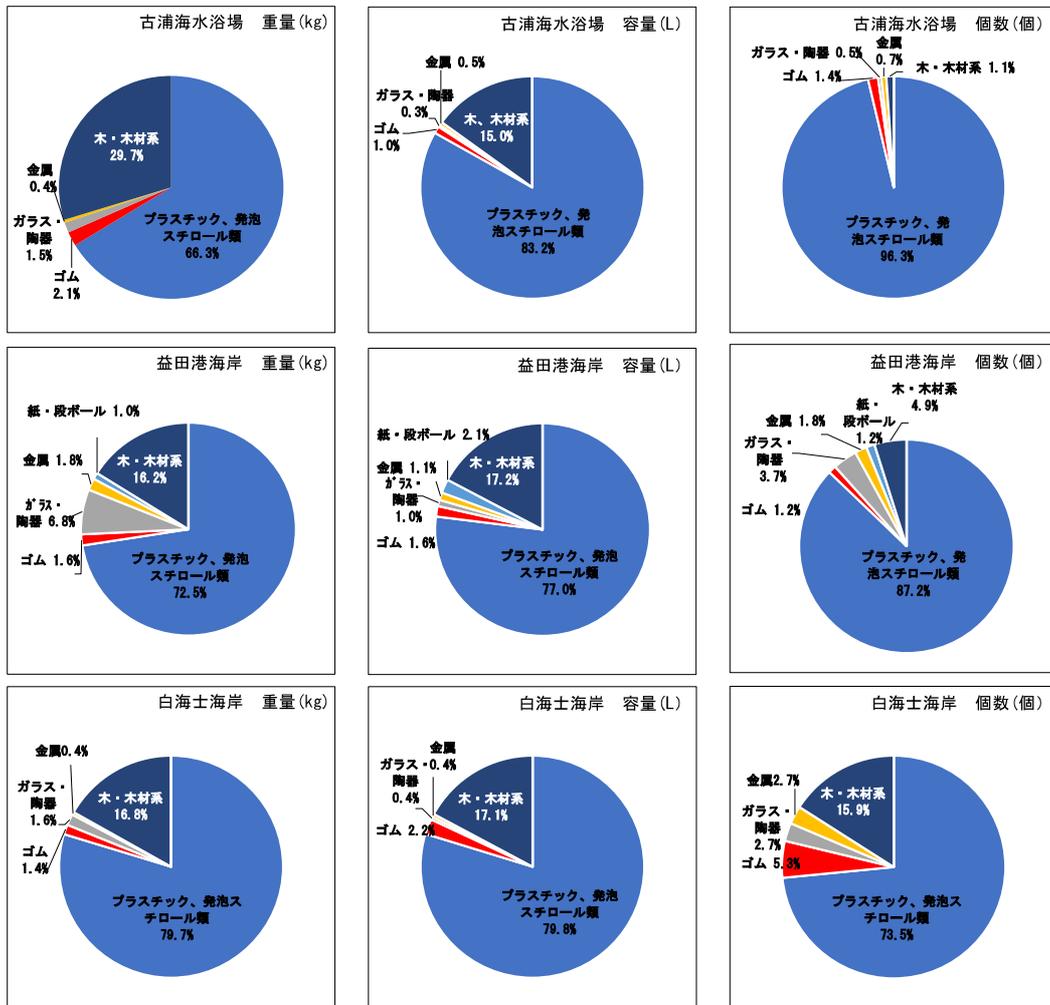


図 4.1-2 人工物の大分類別組成比

### (3) 品目別組成比

本調査における漂着ごみを品目ごとに集計し、人工物のうち上位3位を整理した結果は、表 4.1-6 に示すとおりである。

重量は、全ての地点で木材（物流用パレット、木炭等含む）が多かった。また、古浦海水浴場及び白海士海岸でロープ、ひも（漁具）、益田港海岸でプラスチック浮子（ブイ）（漁具）が多かった。

容量は、全ての地点でロープ、ひも（漁具）、木材（物流用パレット、木炭等含む）が多かった。また、古浦海水浴場で飲料用（ペットボトル） $\geq 1\text{L}$ 、益田港海岸で発泡スチロールの破片、白海士海岸で飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$ が多かった。

個数は、全ての地点で飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$ が多かった。また、古浦海水浴場でロープ、ひも（漁具）、益田港海岸及び白海士海岸でプラスチック浮子（ブイ）（漁具）が多かった。

表 4.1-6 品目別組成比

順位	令和7年度		重量		順位	令和7年度		容量	
	地点：古浦海水浴場		kg	割合		地点：古浦海水浴場		L	割合
1	木材（物流用パレット、木炭等含む）		25.0	29.7%	1	木材（物流用パレット、木炭等含む）		144.0	15.0%
2	ロープ、ひも（漁具）		12.2	14.5%	2	ロープ、ひも（漁具）		124.2	12.9%
3	プラスチック 浮子（ブイ）（漁具）		7.2	8.5%	3	飲料用（ペットボトル） $\geq 1\text{L}$		102.0	10.6%
順位	益田港海岸		kg		割合		順位	益田港海岸	
								L	割合
1	プラスチック 浮子（ブイ）（漁具）		2.8	21.3%	1	発泡スチロールの破片		18.6	20.1%
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		2.1	16.2%	2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		16.0	17.2%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		1.8	14.0%	3	ロープ、ひも（漁具）		15.5	16.7%
順位	白海士海岸		kg		割合		順位	白海士海岸	
								L	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		21.4	60.0%	1	ロープ、ひも（漁具）		95.4	54.3%
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		6.0	16.8%	2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		30.0	17.1%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		2.2	6.3%	3	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		13.1	7.5%

順位	令和7年度		個数	
	地点：古浦海水浴場		個	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		365	25.1%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		267	18.4%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		150	10.3%
順位	益田港海岸		個	
				割合
1	プラスチック 浮子（ブイ）（漁具）		41	25.0%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		25	15.2%
3	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		15	9.1%
順位	白海士海岸		個	
				割合
1	飲料用（ペットボトル） $< 1\text{L}$		31	27.4%
2	プラスチック 浮子（ブイ）（漁具）		16	14.2%
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		16	14.2%

※個数については、破片状のものは集計していない。

#### 4.1.3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

本調査におけるプラスチック・発泡スチロールの組成比は、表 4.1-7 及び図 4.1-3 に示すとおりである。

これによれば、重量及び容量は、古浦海水浴場及び白海士海岸では海域由来が多く、益田港海岸では容器包装及びその他が多かった。個数は全ての地点で容器包装が多かった。なお、その他は主に破片類であり、個数は計測していない。

表 4.1-7 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

項目	古浦海水浴場			益田港海岸			白海士海岸		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	15.393	263.497	705	3.827	22.691	67	4.054	27.866	49
製品	1.814	29.716	111	0.539	2.783	17	0.001	0.001	1
海域由来	26.852	311.785	546	3.070	17.598	59	22.603	99.420	33
その他	11.689	193.585	5	1.990	28.435	0	1.832	12.730	0
合計	55.748	798.583	1367	9.426	71.507	143	28.490	140.016	83

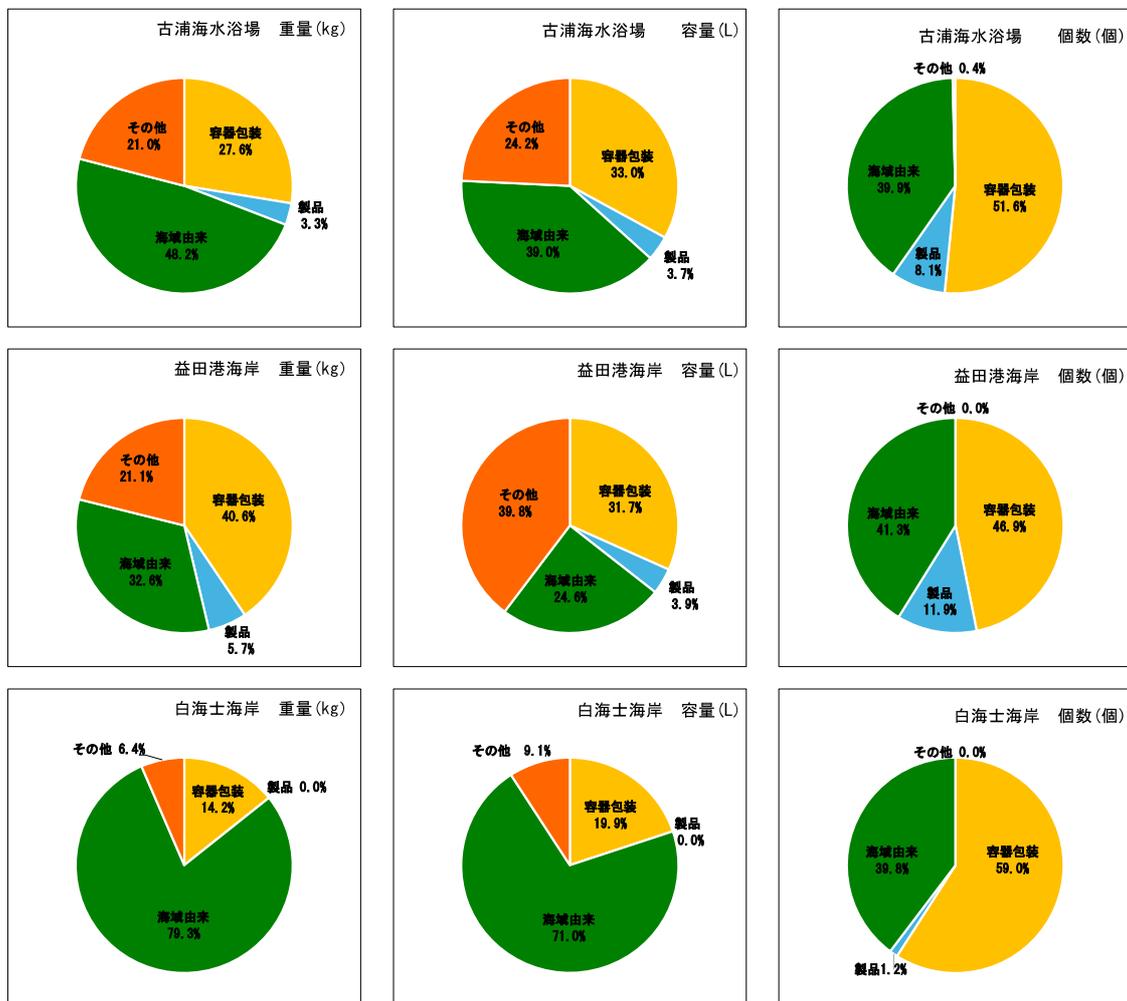


図 4.1-3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

#### 4.1.4 表記言語別の漂着ごみの組成比

本調査における表記言語別の漂着ごみの組成比は、表 4.1-8 に示すとおりである。これによれば、不明なものを除外すると、全調査地点で外国産の「ペットボトル」、「ペットボトルのキャップ」及び「漁業用の浮子」が多かった。

表 4.1-8 表記言語別ごみの個数及び割合

地点	個数	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
		個	割合	個	割合	個	割合
古浦海水浴場	日本	35	17.2%	24	9.0%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	36	17.7%	78	29.2%	38	45.2%
	韓国（ハングル）	45	22.2%	47	17.6%	15	17.9%
	ロシア（ロシア語）	1	0.5%		0.0%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）	86	42.4%	118	44.2%	31	36.9%
	合計	203	100.0%	267	100.0%	84	100.0%
益田港海岸	日本	2	11.1%		0.0%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	9	50.0%	10	40.0%	13	31.7%
	韓国（ハングル）	6	33.3%	2	8.0%		0.0%
	ロシア（ロシア語）		0.0%		0.0%		0.0%
	ベトナム	1	5.6%		0.0%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）		0.0%	13	52.0%	28	68.3%
合計	18	100.0%	25	100.0%	41	100.0%	
白海士海岸	日本	14	36.8%	3	37.5%		0.0%
	中国・台湾（漢字）	21	55.3%	4	50.0%	13	56.5%
	韓国（ハングル）	1	2.6%		0.0%		0.0%
	ロシア（ロシア語）	2	5.3%	1	12.5%		0.0%
	英語		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	不明（文字読取れず）		0.0%		0.0%	10	43.5%
	合計	38	100.0%	8	100.0%	23	100.0%

## 4.2 経年変化

### 4.2.1 漂着ごみの組成比

#### (1) 人工物と自然物の組成比の経年変化

##### ① 古浦海水浴場

古浦海水浴場の人工物と自然物の組成比の経年変化は、表 4.2-1 及び図 4.2-1 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して本年度の漂着ごみは、人工物は、重量で約 137%、容量で約 178%、個数で約 150%と増加していた。また、自然物は重量で約 253%、容量で約 491%と増加していた。なお、令和 5 年度の個数で多かったのはポリ袋で 1333 個、ロープ、ひも（漁具）で 1182 個であった。なお、自然物の個数は灌木のみであり、灌木は個数を計上しないため「0」となっている。

表 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
人工物	82.4	61.5	84.1	603	538	960	3,515	943	1,419
自然物	38.0	32.6	82.5	206	140	687	1	0	0
合計	120.4	94.1	166.6	810	678	1,647	3,516	943	1,419

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
人工物	68.4%	65.3%	50.5%	74.5%	79.4%	58.3%	100.0%	100.0%	100.0%
自然物	31.6%	34.7%	49.5%	25.5%	20.6%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%

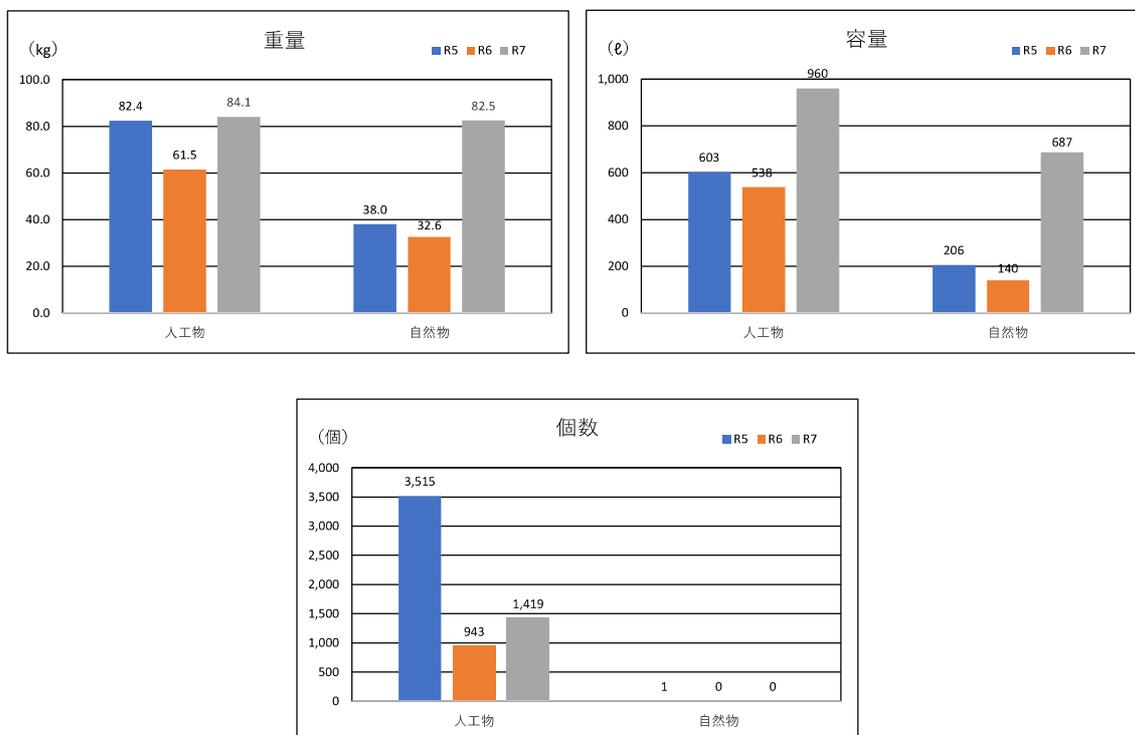


図 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

## ② 益田港海岸

益田港海岸の人工物と自然物の組成比の経年変化は、表 4.2-2 及び図 4.2-2 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して本年度の漂着ごみは、人工物は、重量で約 591%、容量で約 261%、個数で約 278%と増加していた。また、自然物は重量で約 6%、容量で約 3%と減少していた。なお、自然物の個数は灌木のみであり、灌木は個数を計上しないため「0」となっている。

表 4.2-2 人工物と自然物の組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
人工物	2.2	13.0	36	93	59	164
自然物	59.0	3.8	936	27	0	0
合計	61.2	16.8	972	120	59	164

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
人工物	3.6%	77.4%	3.7%	77.5%	100.0%	100.0%
自然物	96.4%	22.6%	96.3%	22.5%	0.0%	0.0%

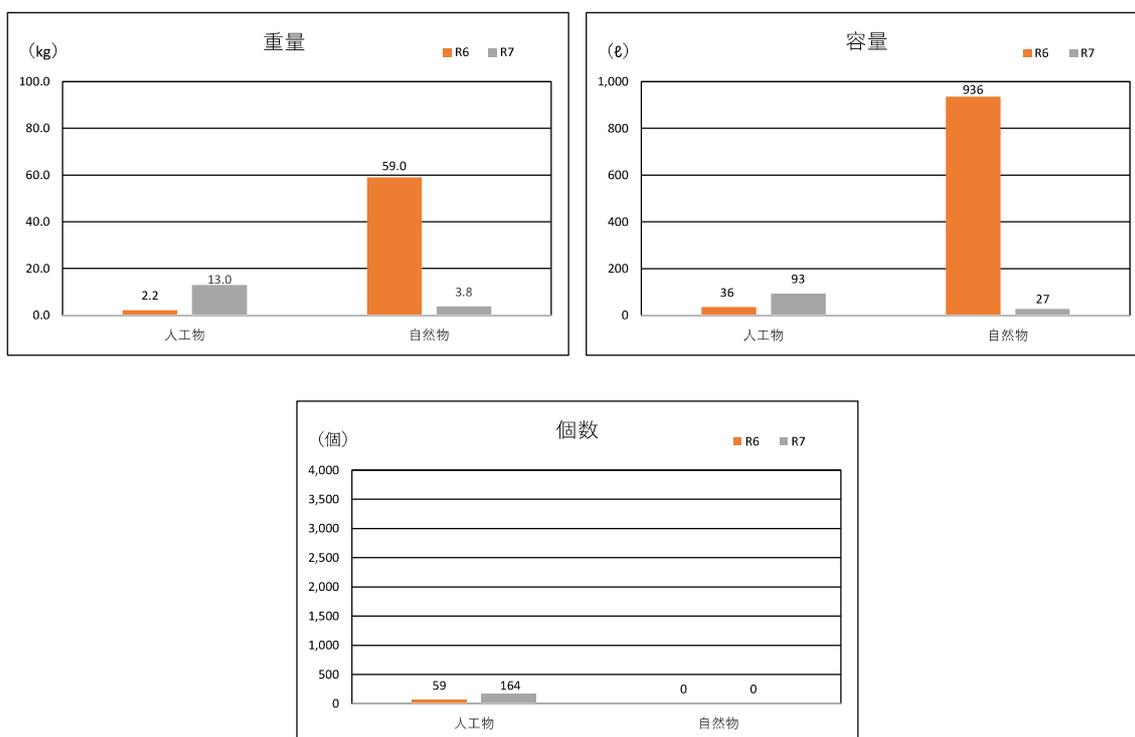


図 4.2-2 人工物と自然物の組成比の経年変化

### ③ 白海士海岸

白海士海岸の人工物と自然物の組成比の経年変化は、表 4.2-3 及び図 4.2-3 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して本年度の漂着ごみは、人工物は、重量で約 311%、容量で約 210%、個数で約 82%となっており、重量及び容量では増加、個数では減少していた。また、自然物は重量で約 200%、容量で約 47%となっており、重量では増加、容量では減少していた。なお、自然物の個数は灌木のみであり、灌木は個数を計上しないため「0」となっている。

表 4.2-3 人工物と自然物の組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
人工物	11.5	35.7	84	176	137	113
自然物	1.5	3.0	48	22	0	0
合計	13.0	38.7	132	198	137	113

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
人工物	88.5%	92.3%	63.5%	88.7%	100.0%	100.0%
自然物	11.5%	7.7%	36.5%	11.3%	0.0%	0.0%

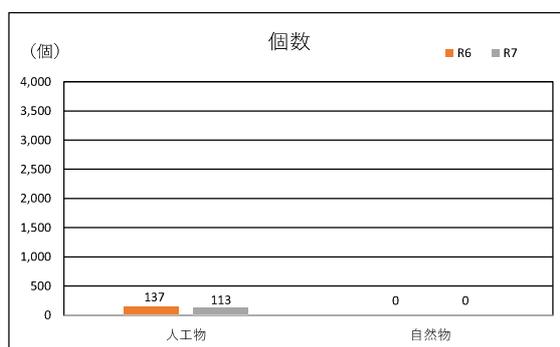
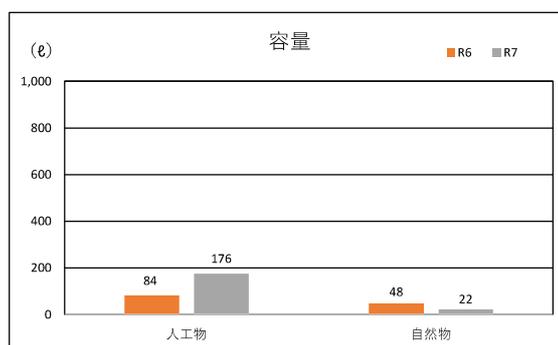
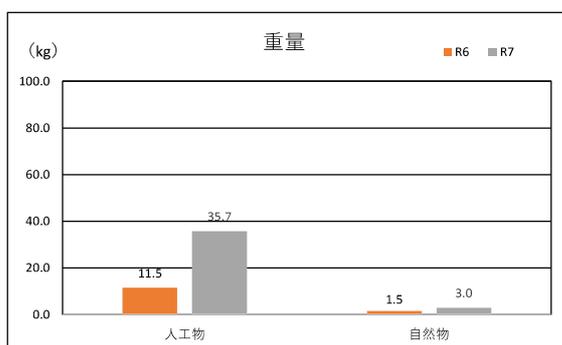


図 4.2-3 人工物と自然物の組成比の経年変化

(2) 品目別組成比の経年変化

① 古浦海水浴場

古浦海水浴場の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-4 に示すとおりである。

これによれば、昨年度と比較して重量及び容量では、昨年度見られなかった木材やロープ、ひも（漁具）が大幅に増加していた。個数では、組成内容は昨年度と変わらないが、それぞれ大幅に増加していた。

表 4.2-4 品目別組成比の経年変化

地点：古浦海水浴場				地点：古浦海水浴場					
順位	令和7年度		重量		順位	令和7年度		容量	
			kg	割合		L	割合		
1	木材（物流用パレット、木炭等含む）		25.1	29.7%	1	木材（物流用パレット、木炭等含む）	144.1	15.0%	
2	ロープ、ひも（漁具）		12.1	14.5%	2	ロープ、ひも（漁具）	124.1	12.9%	
3	プラスチック 浮子（パイ）（漁具）		7.1	8.5%	3	飲料用（ペットボトル）≥1L	102.1	10.6%	
順位	令和6年度		重量		順位	令和6年度		容量	
1	硬質プラスチック破片		28.1	45.5%	1	発泡スチロールの破片	175.1	32.5%	
2	発泡スチロールの破片		5.1	8.6%	2	飲料用（ペットボトル）≥1L	64.1	11.9%	
3	飲料用（ペットボトル）<1L		4.1	7.0%	3	飲料用（ペットボトル）<1L	54.1	10.0%	
順位	令和5年度		重量		順位	令和5年度		容量	
1	ロープ、ひも（漁具）		43.1	51.9%	1	発泡スチロールの破片	180.1	29.8%	
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）		17.1	21.1%	2	ロープ、ひも（漁具）	140.1	23.2%	
3	発泡スチロールの破片		5.1	5.8%	3	食品の容器包装	62.1	10.3%	

地点：古浦海水浴場				
順位	令和7年度		個数	
			個	割合
1	ロープ、ひも（漁具）		365	25.7%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		267	18.8%
3	飲料用（ペットボトル）<1L		150	10.6%
順位	令和6年度		個数	
1	ロープ、ひも（漁具）		256	27.1%
2	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		123	13.0%
3	飲料用（ペットボトル）<1L		108	11.5%
順位	令和5年度		個数	
1	食品の容器包装		1,263	38.1%
2	ロープ、ひも（漁具）		1,185	35.7%
3	プラスチック ボトルのキャップ、ふた		276	8.3%

## ② 益田港海岸

益田港海岸の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-5 に示すとおりである。

これによれば、昨年度と比較して重量では、プラスチックの浮子（ブイ）（漁具）や木材が大幅に増加していた。容量では、発泡スチロールの破片及び木材が大幅に増加し、ロープ、ひも（漁具）が減少していた。個数では、プラスチックの浮子（ブイ）（漁具）が大幅に増加していた。

表 4.2-5 品目別組成比の経年変化

順位	地点：益田港海岸		重量		順位	地点：益田港海岸		容量	
	令和7年度		kg	割合		令和7年度		L	割合
1	プラスチック	浮子（ブイ）（漁具）	2.8	21.3%	1	発泡スチロールの破片	18.6	20.1%	
2	木材	（物流用パレット、木炭等含む）	2.1	16.2%	2	木材	（物流用パレット、木炭等含む）	16.0	17.2%
3	飲料用	（ペットボトル）<1L	1.8	14.0%	3	ロープ、ひも	（漁具）	15.5	16.7%
順位	令和6年度		kg	割合	順位	令和6年度		L	割合
1	ロープ、ひも	（漁具）	1.1	49.7%	1	ロープ、ひも	（漁具）	21.7	61.1%
2	飲料用	（ペットボトル）<1L	0.4	19.8%	2	発泡スチロールの破片	4.9	13.8%	
3	ガラス、陶器	食品容器	0.1	6.2%	3	飲料用	（ペットボトル）<1L	4.5	12.7%

順位	地点：益田港海岸		個数	
	令和7年度		個	割合
1	プラスチック	浮子（ブイ）（漁具）	41	25.0%
2	プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	25	15.2%
3	飲料用	（ペットボトル）<1L	15	9.1%
順位	令和6年度		個	割合
1	プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	12	20.3%
2	発泡スチロール	食品容器	10	16.9%
3	プラスチック	食品容器	8	13.6%

### ③ 白海士海岸

白海士海岸の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-6 に示すとおりである。

これによれば、昨年度と比較して全体的に木材が増加しており、重量及び容量ではロープ、ひも（漁具）が大幅に増加していた。

表 4.2-6 品目別組成比の経年変化

地点：白海士海岸				地点：白海士海岸			
令和7年度		重量		令和7年度		容量	
順位		kg	割合	順位		L	割合
1	ロープ、ひも（漁具）	21.4	60.0%	1	ロープ、ひも（漁具）	95.4	54.3%
2	木材（物流用パレット、木炭等含む）	6.0	16.8%	2	木材（物流用パレット、木炭等含む）	30.0	17.1%
3	飲料用（ペットボトル）<1L	2.2	6.3%	3	飲料用（ペットボトル）<1L	13.1	7.5%
令和6年度		重量		令和6年度		容量	
順位		kg	割合	順位		L	割合
1	ロープ、ひも（漁具）	3.3	28.9%	1	ロープ、ひも（漁具）	40.4	48.3%
2	飲料用（ペットボトル）<1L	3.2	27.9%	2	飲料用（ペットボトル）<1L	17.8	21.3%
3	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）	1.0	9.0%	3	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）	4.9	5.9%

地点：白海士海岸			
令和7年度		個数	
順位		個	割合
1	飲料用（ペットボトル）<1L	31	27.4%
2	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）	16	14.2%
3	木材（物流用パレット、木炭等含む）	16	14.2%
令和6年度		個数	
順位		個	割合
1	飲料用（ペットボトル）<1L	37	27.0%
2	プラスチック 浮子（フイ）（漁具）	37	27.0%
3	ロープ、ひも（漁具）	17	12.4%

### (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化

#### ① 古浦海水浴場

古浦海水浴場の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-7 及び図 4.2-4 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量、容量及び個数では、プラスチック及び木（木材等）が増加していた。容量では、発泡スチロールが減少していた。

表 4.2-7 人工物の大分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
プラスチック	58	48	50	368	308	650	3,387	886	1,352
発泡スチロール	5	6	6	190	183	149	79	16	15
ゴム	0	2	2	3	15	10	10	15	20
ガラス、陶器	1	2	1	4	4	3	7	9	7
金属	0	0	0	3	3	5	13	7	10
紙、段ボール	0	0	0	4	0	0	7	1	0
天然繊維	0	0	0	0	1	0	1	3	0
木（木材等）	17	3	25	31	25	144	11	6	15
電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	82	61	84	603	538	960	3,515	943	1,419

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
プラスチック	70.8%	78.7%	59.3%	61.0%	57.2%	67.7%	96.4%	94.0%	95.3%
発泡スチロール	6.0%	9.7%	7.0%	31.5%	33.9%	15.5%	2.2%	1.7%	1.1%
ゴム	0.5%	2.5%	2.1%	0.5%	2.7%	1.0%	0.3%	1.6%	1.4%
ガラス、陶器	0.7%	3.2%	1.5%	0.7%	0.7%	0.3%	0.2%	1.0%	0.5%
金属	0.6%	0.8%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	0.4%	0.7%	0.7%
紙、段ボール	0.3%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%
天然繊維	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%
木（木材等）	21.1%	5.0%	29.7%	5.1%	4.6%	15.0%	0.3%	0.6%	1.1%
電化製品、電子機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

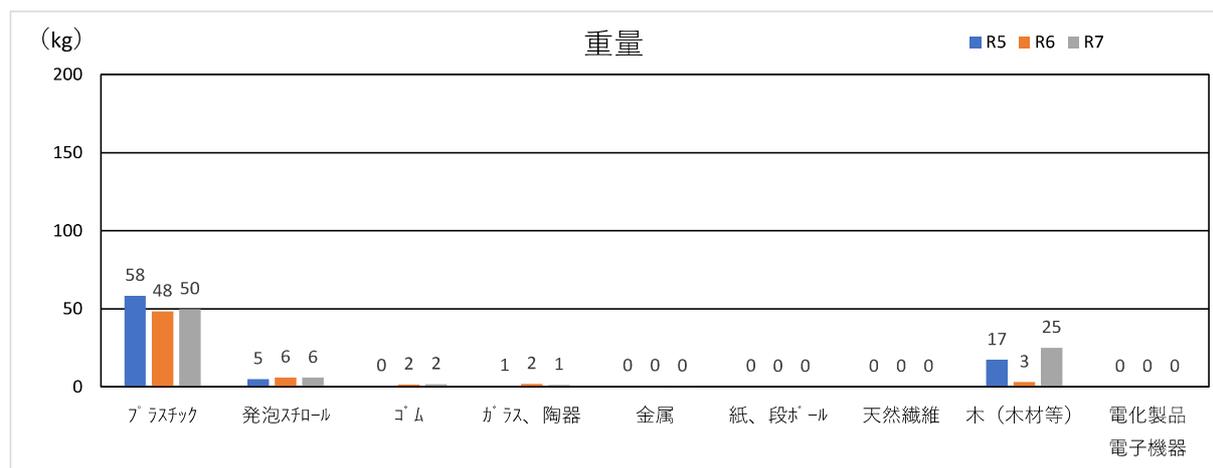


図 4.2-4 (1) 人工物の大分類別組成比の経年変化（重量）

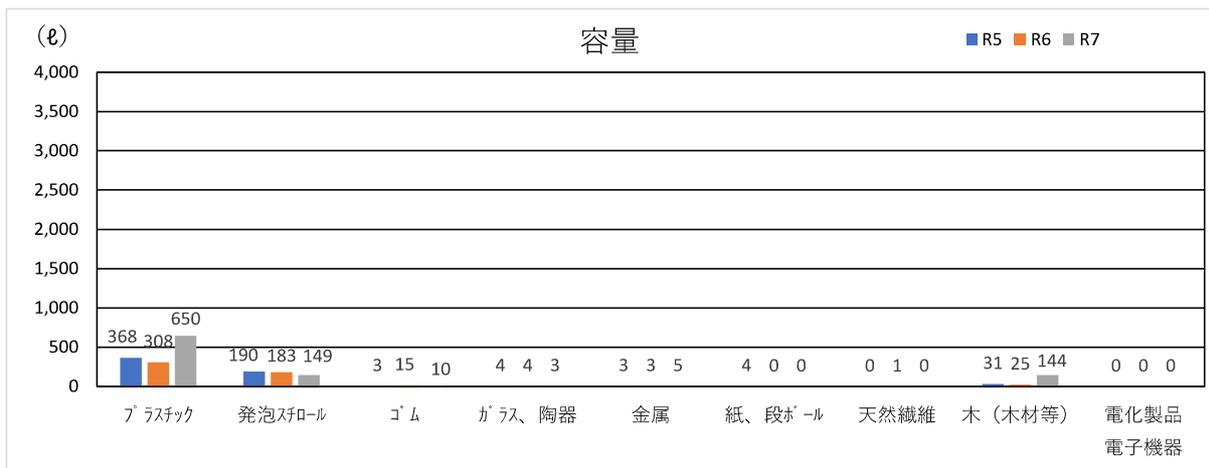


図 4.2-4 (2) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (容量)

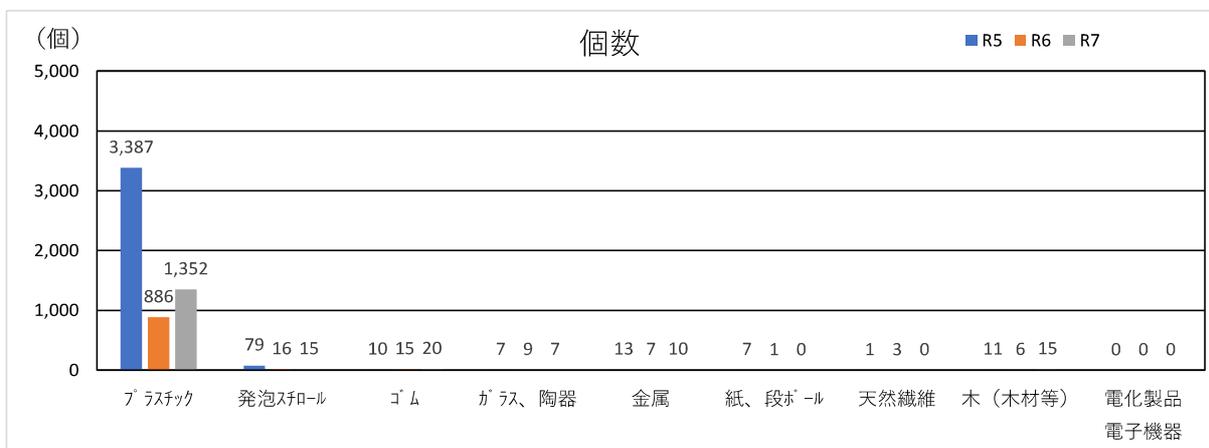


図 4.2-4 (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (個数)

② 益田港海岸

益田港海岸の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-8 及び図 4.2-5 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量、容量及び個数では、プラスチック及び木（木材等）が増加していた。

表 4.2-8 人工物の大分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
プラスチック	2	8	30	53	48	143
発泡スチロール	0	1	5	19	10	0
ゴム	0	0	0	1	0	2
ガラス、陶器	0	1	0	1	1	6
金属	0	0	0	1	0	3
紙、段ボール	0	0	0	2	0	2
天然繊維	0	0	0	0	0	0
木（木材等）	0	2	0	16	0	8
電化製品、電子機器	0	0	0	0	0	0
合計	2	13	36	93	59	164

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
プラスチック	88.8%	64.9%	84.9%	56.9%	81.4%	87.2%
発泡スチロール	5.0%	7.7%	14.7%	20.1%	16.9%	0.0%
ゴム	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	1.2%
ガラス、陶器	6.2%	6.8%	0.4%	1.0%	1.7%	3.7%
金属	0.0%	1.8%	0.0%	1.1%	0.0%	1.8%
紙、段ボール	0.0%	1.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.2%
天然繊維	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
木（木材等）	0.0%	16.2%	0.0%	17.2%	0.0%	4.9%
電化製品、電子機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

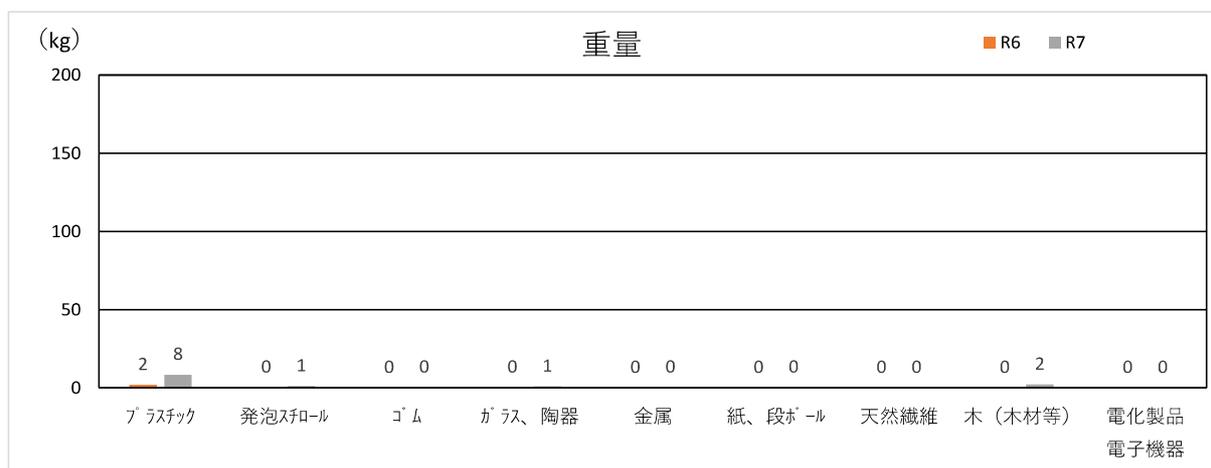


図 4.2-5 (1) 人工物の大分類別組成比の経年変化（重量）

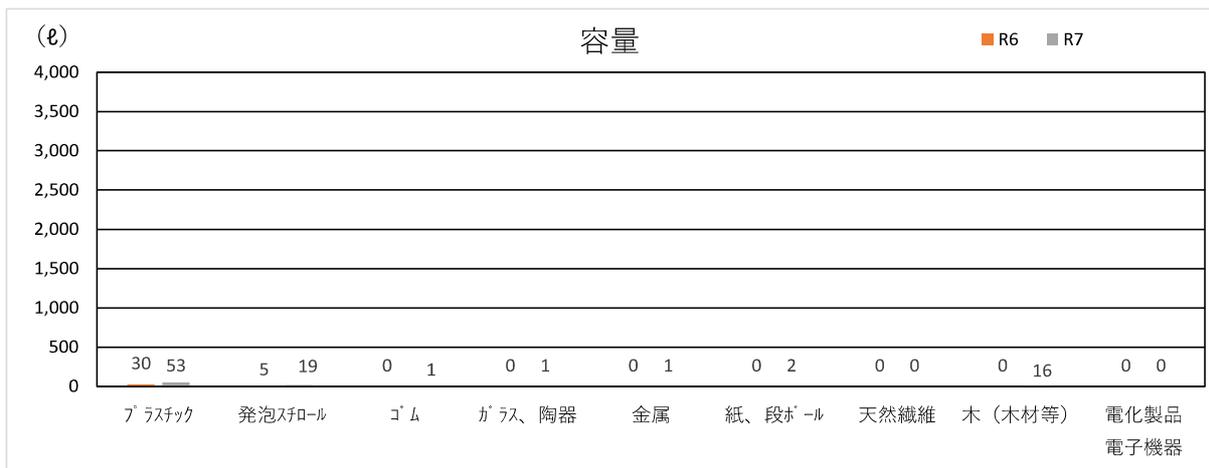


図 4.2-5 (2) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (容量)

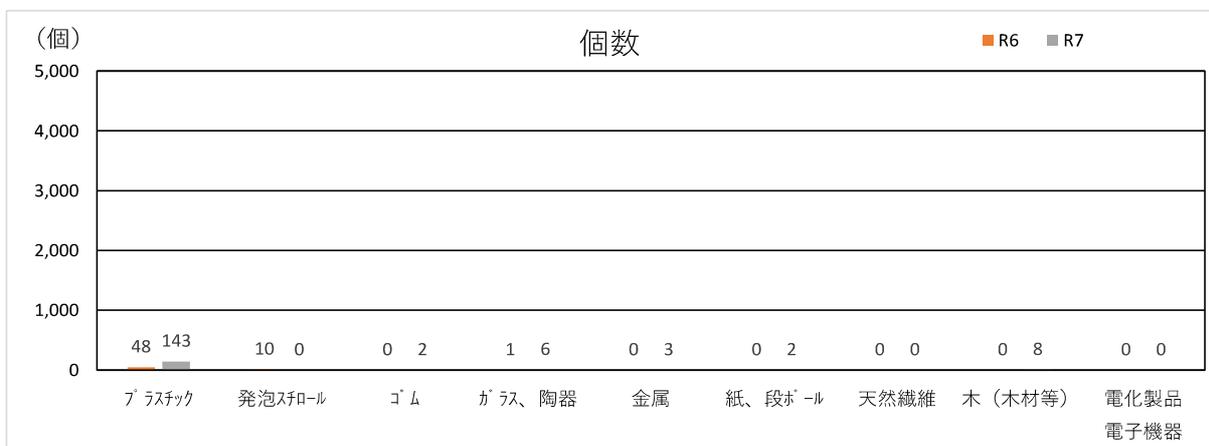


図 4.2-5 (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (个数)

### ③ 白海士海岸

白海士海岸の人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-9 及び図 4.2-6 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量及び容量では、プラスチック及び木（木材等）が増加していた。個数ではプラスチックが減少し、木（木材等）が増加していた。

表 4.2-9 人工物の大分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
プラスチック	9	27	71	131	112	76
発泡スチロール	0	1	0	9	0	7
ゴム	1	1	4	4	6	6
ガラス、陶器	0	1	0	1	2	3
金属	2	0	8	1	15	3
紙、段ボール	0	0	0	0	0	0
天然繊維	0	0	0	0	1	0
木（木材等）	0	6	0	30	0	18
電化製品、電子機器	0	0	1	0	1	0
合計	11	36	84	176	137	113

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
プラスチック	74.7%	76.7%	84.4%	74.8%	81.8%	67.3%
発泡スチロール	0.1%	3.0%	0.4%	5.0%	0.0%	6.2%
ゴム	7.6%	1.4%	4.4%	2.2%	4.4%	5.3%
ガラス、陶器	2.7%	1.6%	0.5%	0.4%	1.5%	2.7%
金属	13.4%	0.4%	9.3%	0.4%	10.9%	2.7%
紙、段ボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
天然繊維	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.7%	0.0%
木（木材等）	0.0%	16.8%	0.0%	17.1%	0.0%	15.9%
電化製品、電子機器	1.4%	0.0%	0.8%	0.0%	0.7%	0.0%

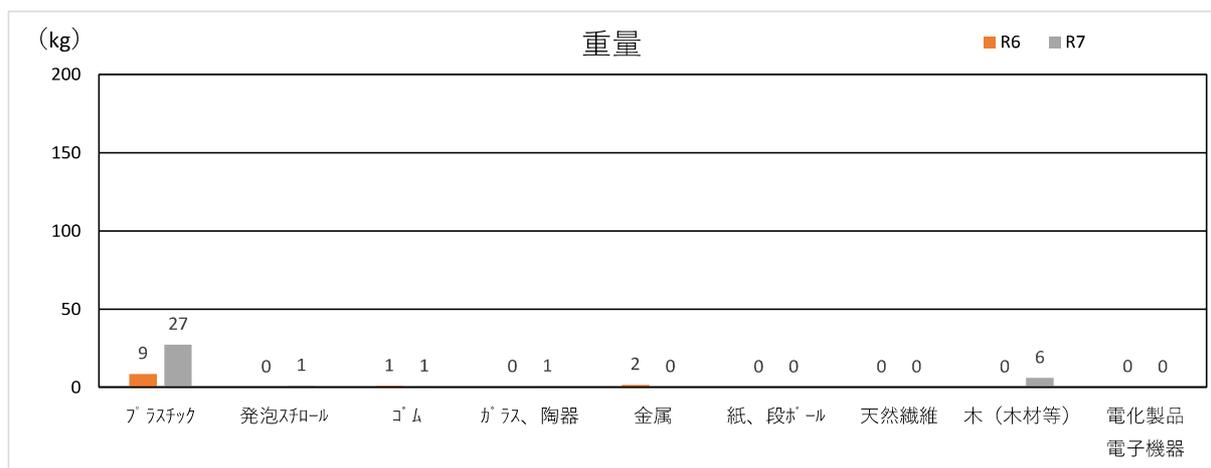


図 4.2-6 (1) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (重量)

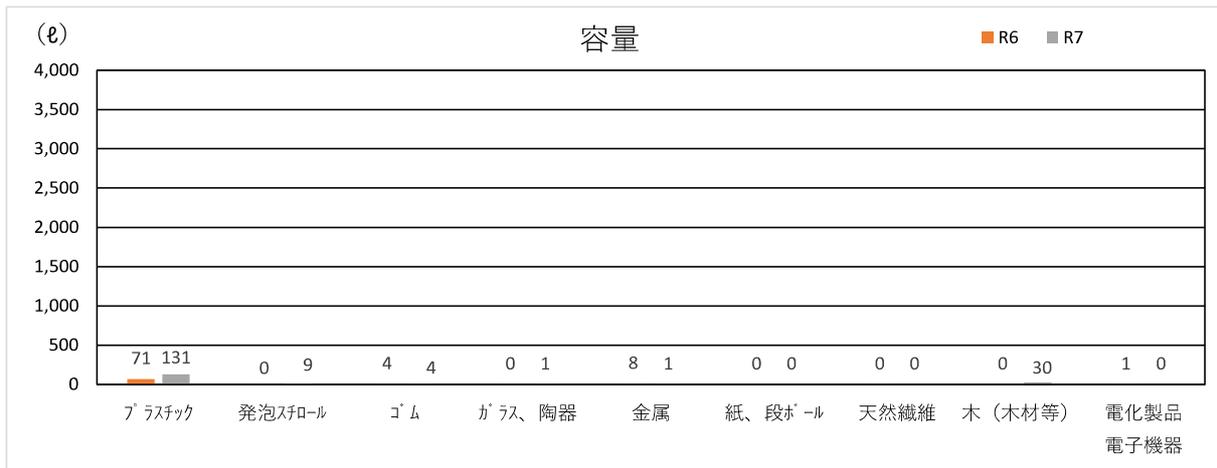


図 4.2-6 (2) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (容量)

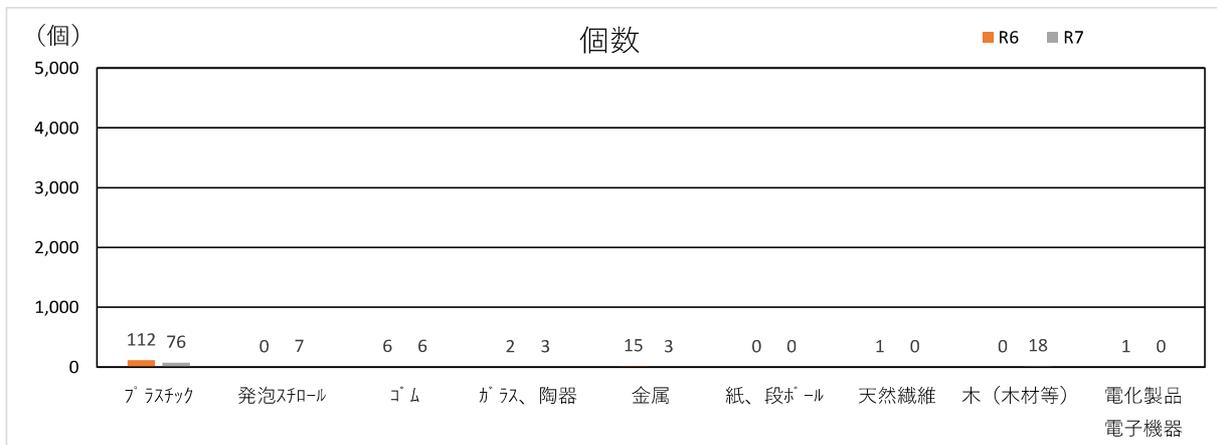


図 4.2-6 (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (個数)

#### 4.2.2 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

##### ① 古浦海水浴場

古浦海水浴場のプラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化は、表 4.2-10 及び図 4.2-7 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量は、海域由来が大幅に増加し、その他が減少していた。容量及び個数では全体的に増加しているが、特に容器包装及び海域由来が大幅に増加していた。

表 4.2-10 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)			容量 (L)			個数 (個)		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
製品	1	1	2	24	12	30	324	83	111
容器包装	8	13	15	140	198	263	1,832	449	705
海域由来	46	7	27	164	97	312	1,310	370	546
その他	9	33	12	231	183	194	0	0	5
合計	63	54	56	558	491	799	3,466	902	1,367

割合	重量割合			容量割合			個数割合		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
製品	1.3%	1.1%	3.3%	4.3%	2.5%	3.7%	9.3%	9.2%	8.1%
容器包装	12.1%	24.0%	27.6%	25.0%	40.4%	33.0%	52.9%	49.8%	51.6%
海域由来	72.2%	13.6%	48.2%	29.3%	19.8%	39.0%	37.8%	41.0%	39.9%
その他	14.4%	61.3%	21.0%	41.3%	37.3%	24.2%	0.0%	0.0%	0.4%

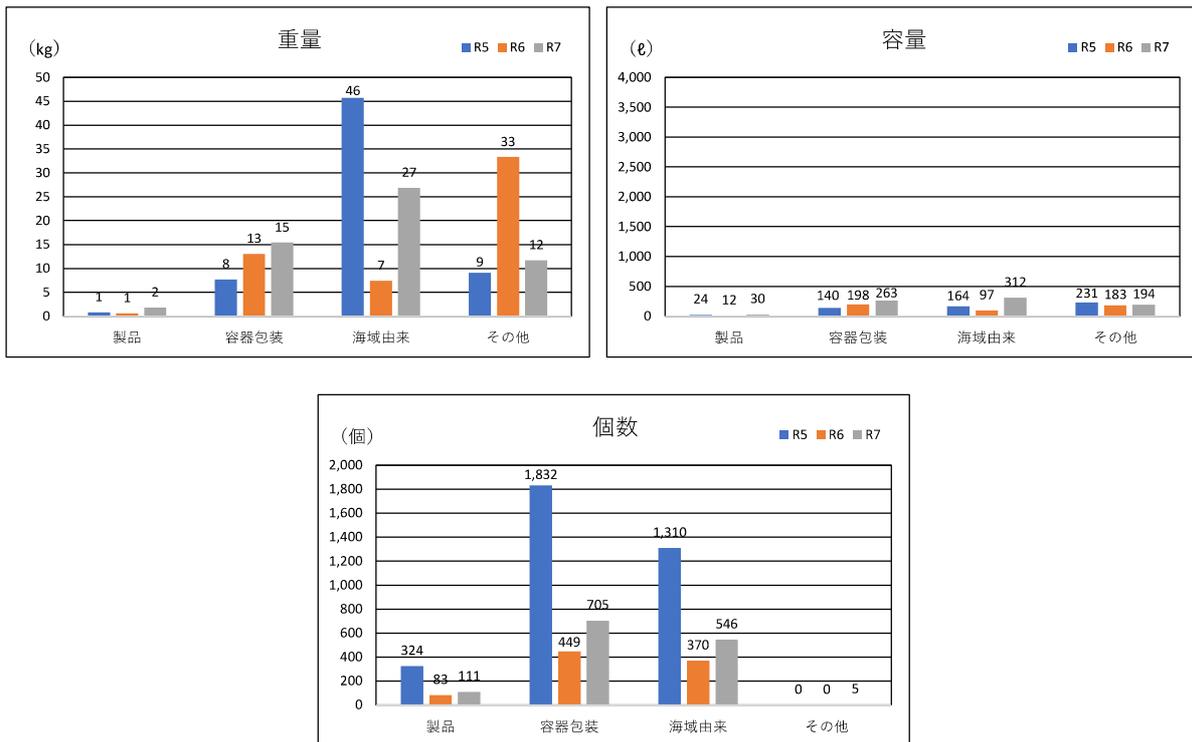


図 4.2-7 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

② 益田港海岸

益田港海岸のプラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化は、表 4.2-11 及び図 4.2-8 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量は、全体的に増加し、容量及び個数では容器包装及び海域由来が大幅に増加していた。

表 4.2-11 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
製品	0	1	0	3	8	17
容器包装	1	4	7	23	40	67
海域由来	1	3	24	18	10	59
その他	0	2	5	28	0	0
合計	2	9	35	72	58	143

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
製品	1.0%	5.7%	0.3%	3.9%	13.8%	11.9%
容器包装	30.7%	40.6%	18.5%	31.7%	69.0%	46.9%
海域由来	61.5%	32.6%	67.0%	24.6%	17.2%	41.3%
その他	6.8%	21.1%	14.3%	39.8%	0.0%	0.0%

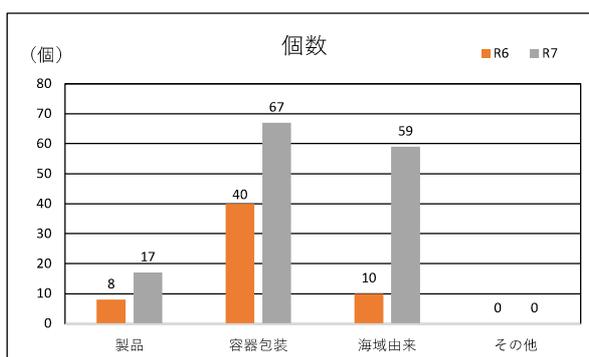
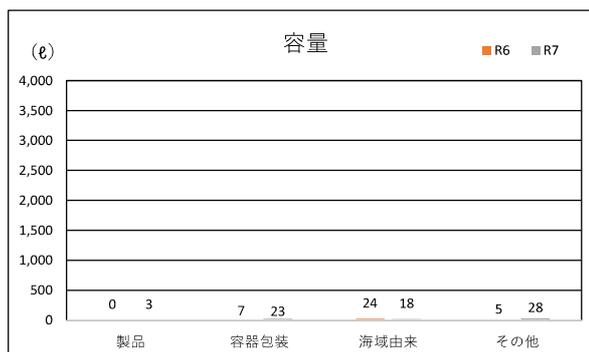
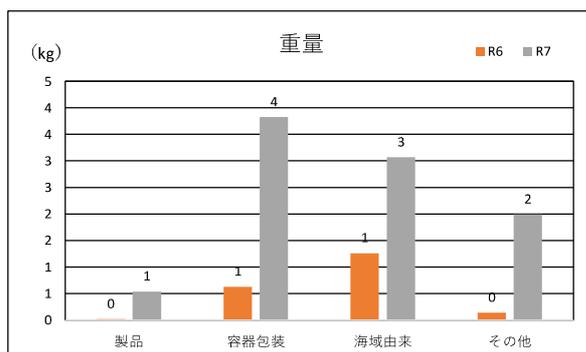


図 4.2-8 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

### ③ 白海士海岸

白海士海岸のプラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化は、表 4.2-12 及び図 4.2-9 に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して重量及び容量は海域由来が大幅に増加し、個数では海域由来が大幅に減少していた。

表 4.2-12 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

	重量 (kg)		容量 (L)		個数 (個)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
製品	0	0	1	0	4	1
容器包装	4	4	20	28	52	49
海域由来	4	23	46	99	56	33
その他	0	2	4	13	0	0
合計	9	28	71	140	112	83

割合	重量割合		容量割合		個数割合	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
製品	1.2%	0.0%	1.3%	0.0%	3.6%	1.2%
容器包装	42.3%	14.2%	28.9%	19.9%	46.4%	59.0%
海域由来	51.7%	79.3%	64.5%	71.0%	50.0%	39.8%
その他	4.8%	6.4%	5.3%	9.1%	0.0%	0.0%

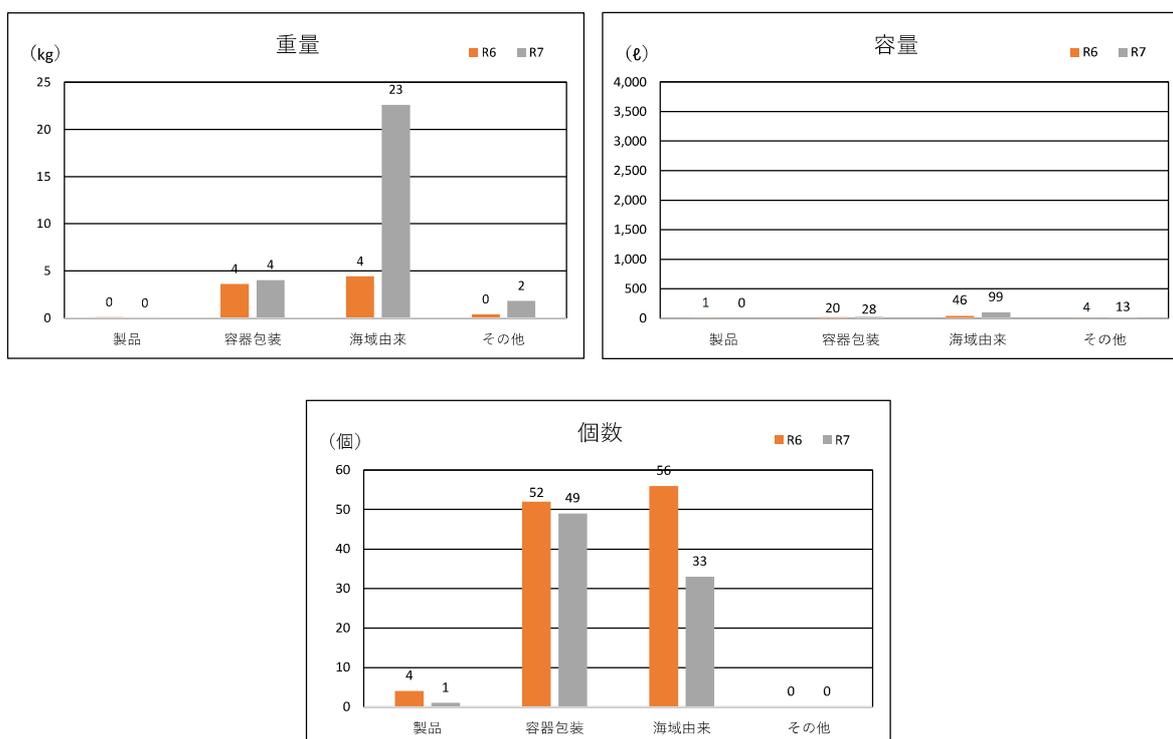


図 4.2-9 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

#### 4.2.3 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

##### ① 古浦海水浴場

古浦海水浴場の表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化は、表 4.2-13 及び図 4.2-10 に示すとおりである。これによれば、判別出来るものでは、中国・台湾及び韓国からの漂着物が多い傾向にあった。

表 4.2-13 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

個数	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
日本	3	15	35	8	8	24	0	0	0
中国・台湾（漢字）	10	21	36	29	16	78	26	5	0
韓国（ハングル）	1	14	45	55	20	47	20	1	15
ロシア（ロシア語）	0	5	1	0	9	0	0	0	0
英語	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明（文字読取れず）	47	92	86	184	70	118	21	25	31
合計	61	147	203	276	123	267	67	31	46

割合	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
日本	4.9%	10.2%	17.2%	2.9%	6.5%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中国・台湾（漢字）	16.4%	14.3%	17.7%	10.5%	13.0%	29.2%	38.8%	16.1%	1.0%
韓国（ハングル）	1.6%	9.5%	22.2%	19.9%	16.3%	17.6%	29.9%	3.2%	32.3%
ロシア（ロシア語）	0.0%	3.4%	0.5%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明（文字読取れず）	77.0%	62.6%	42.4%	66.7%	56.9%	44.2%	31.3%	80.6%	66.7%

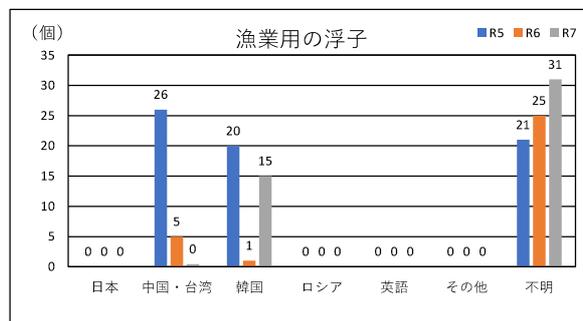
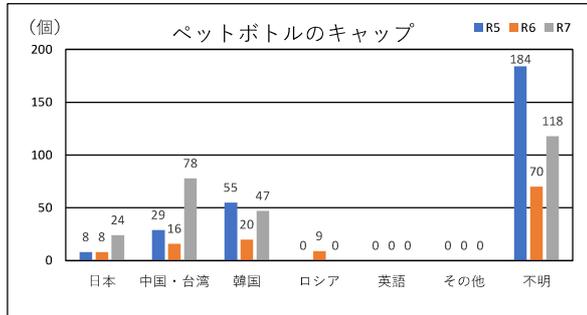
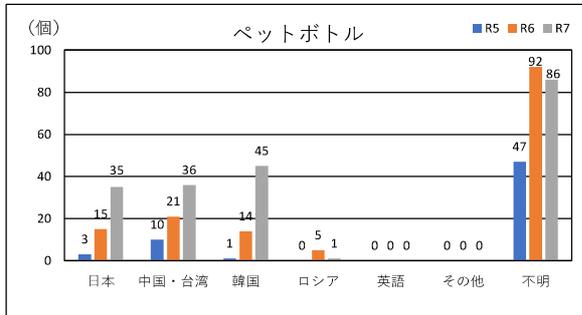


図 4.2-10 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

② 益田港海岸

益田港海岸の表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化は、表 4.2-14 及び図 4.2-11 に示すとおりである。これによれば、判別出来るものでは、中国・台湾及び韓国からの漂着物が多い傾向にあった。

表 4.2-14 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

個数	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
日本	5	2	11	0	0	0
中国・台湾（漢字）	1	9	0	10	0	13
韓国（ハングル）	1	6	1	2	0	0
ロシア（ロシア語）	0	0	0	0	0	0
ベトナム	0	1	0	0	0	0
英語	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
不明（文字読取れず）	0	0	0	13	2	28
合計	7	18	12	25	2	41

割合	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
日本	71.4%	11.1%	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%
中国・台湾（漢字）	14.3%	50.0%	0.0%	40.0%	0.0%	31.7%
韓国（ハングル）	14.3%	33.3%	8.3%	8.0%	0.0%	0.0%
ロシア（ロシア語）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ベトナム	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明（文字読取れず）	0.0%	0.0%	0.0%	52.0%	100.0%	68.3%

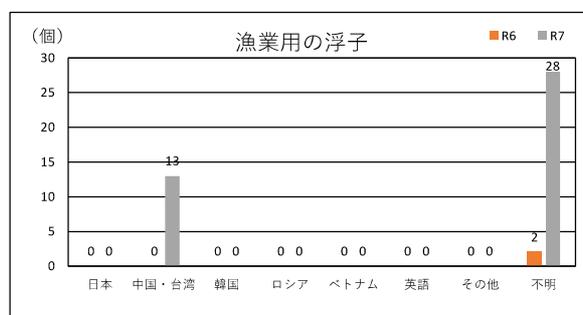
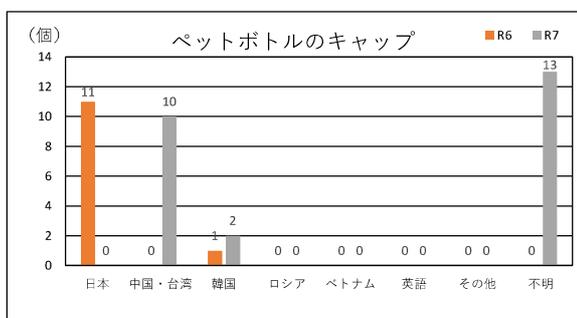
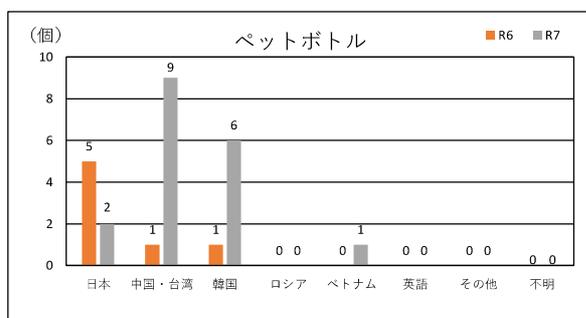


図 4.2-11 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

③ 白海士海岸

白海士海岸の表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化は、表 4.2-15 及び図 4.2-12 に示すとおりである。これによれば、判別出来るものでは、中国・台湾及び韓国からの漂着物が多い傾向にあった。

表 4.2-15 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

個数	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
日本	5	14	1	3	0	0
中国・台湾（漢字）	14	21	2	4	24	13
韓国（ハングル）	1	1	0	0	0	0
ロシア（ロシア語）	0	2	0	1	0	0
英語	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
不明（文字読取れず）	17	0	4	0	13	10
合計	37	38	7	8	37	23

割合	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7
日本	13.5%	36.8%	14.3%	37.5%	0.0%	0.0%
中国・台湾（漢字）	37.8%	55.3%	28.6%	50.0%	64.9%	56.5%
韓国（ハングル）	2.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ロシア（ロシア語）	0.0%	5.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
英語	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明（文字読取れず）	45.9%	0.0%	57.1%	0.0%	35.1%	43.5%

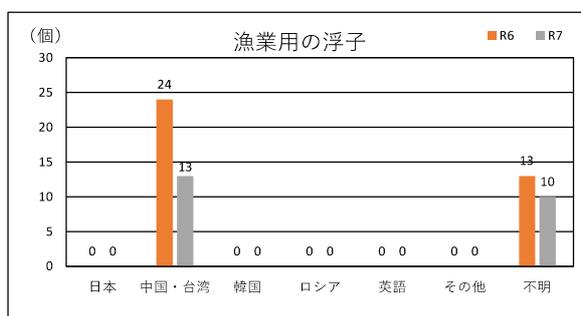
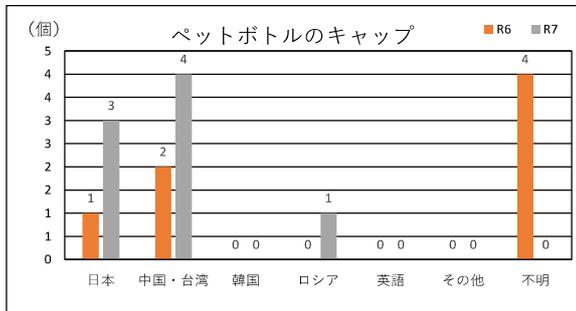
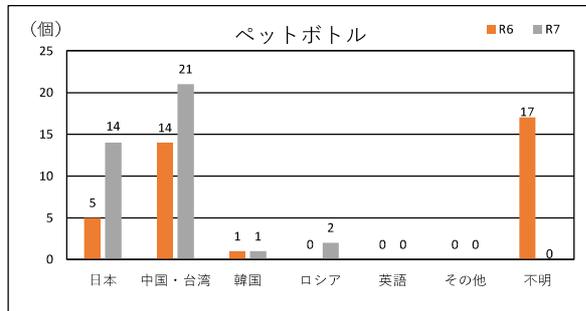


図 4.2-12 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化